

## (4) 学校教育学部

## ④ 学びのひろば

## ア 運営・活動の状況

## i) 学びのひろば支援部会設置の趣旨（目的）及び組織

学びのひろば支援部会は、教員養成学部における教職を志す学生の教員としての実践的指導力育成に資するため、学生が種々の体験活動を通じて、子ども達とふれあい、子どもの気持ちや行動を理解できる機会を設けることを目的に教務委員会の下に専門部会として設置されており、「学びのひろば」の学生事務局指導教員及び各クラブ顧問教員の計13人で構成している。

## ii) 支援部会等の開催状況

平成30年度においては、4月7日（土）に新入生オリエンテーションの一環として「学びのひろば」新入生ガイダンスを実施したほか、学びのひろば支援部会を以下のとおり2回開催した。

- ・ 第1回 平成30年4月17日（火）
- ・ 第2回 平成31年3月18日（月）

## iii) 審議された主な事項

- ・ 平成30年度学びのひろば実施計画
- ・ 平成30年度学びのひろば活動状況
- ・ 平成31年度学びのひろば活動計画

## iv) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

近年、地元児童の申し込みが定員を大幅に上回り、地域に「学びのひろば」は定着している。平成30年度は、大学での9つのクラブ活動（5回）に加え、国立妙高青少年自然の家での2泊3日の活動（8月20日～22日、6クラブが参加）を実施した。実施状況は、次のとおりである。

・ 第1回	平成30年6月9日（土）	参加児童数	317人
・ 第2回	” 7月7日（土）		283人
・ 第3回	” 8月20日（月）～22日（水）		148人
・ 第4回	” 10月20日（土）		171人
・ 第5回	” 11月17日（土）		276人
・ 第6回	” 12月8日（土）		242人

延べ参加児童数 1,437人

## イ 優れた点及び今後の検討課題等

## i) 優れた点

平成10年度から始まった「学びのひろば」の活動が地域に定着しており、例年300人を超える地域の小学生が参加している。

## ii) 今後の検討課題等

「学びのひろば」の支援体制について検討を行い、全学体制で取り組むことを確認したが、引き続き、各クラブ顧問教員等の確保が課題である。

また、「学びのひろば」における学生の体験的活動が教員としての資質・能力の獲得に結びつくよう、教職キャリアのための総合的な学びの支援体制の充実を図る必要がある。

